

# 石狩川下流自然再生計画

平成26年2月24日

# 石狩川下流自然再生

## 石狩川自然再生勉強会（平成19年3月時点）

黒木 幹 男	北海道大学 大学院 工学研究科 環境資源工学専攻 助教授
辻井 達 一	財団法人 北海道環境財団 理事長
中村 太 士	北海道大学 大学院 農学研究科 森林管理保全学講座 教授
山下 彰 司	独立行政法人 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 上席研究員
渡邊 康 玄	独立行政法人 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 上席研究員

敬称略・50音順

平成14年度から石狩川自然再生勉強会を組織

平成18年度『石狩川下流自然再生計画書』について検討を実施

第1回石狩川下流自然再生勉強会 平成18年12月20日

第2回石狩川下流自然再生勉強会 平成19年 2月28日

平成19年3月『石狩川下流自然再生計画書』策定

平成20年3月『石狩川下流当別地区自然再生実施計画書』策定  
(石狩川下流当別地区自然再生ワークショップ)

平成26年1月『石狩川下流自然再生計画書』改訂



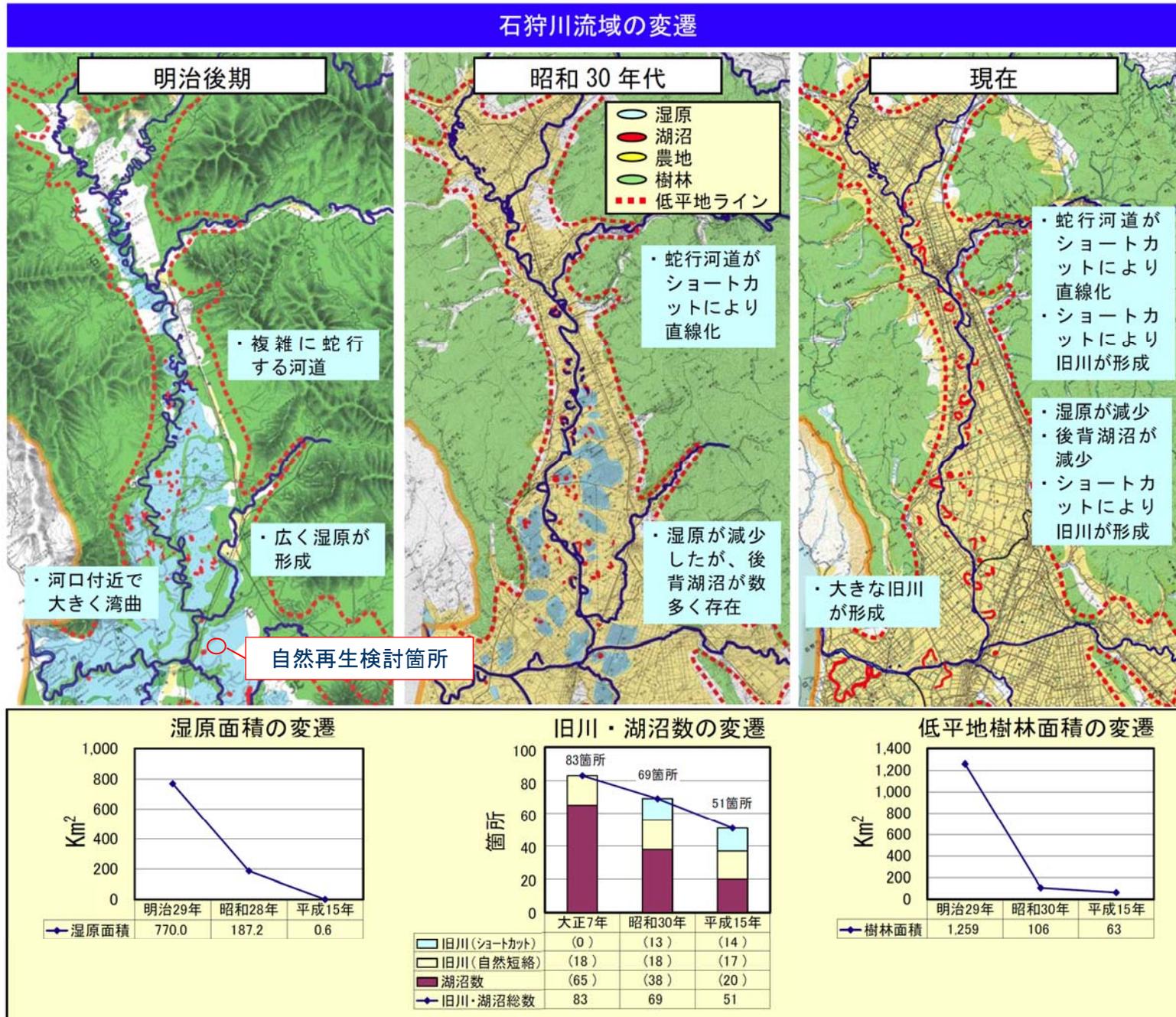


図 1-4 流域環境の変遷

# 石狩川下流域における取り組み状況

**矢臼場、美登位地区 H22～H29**

比較的多くのヤナギ類が生育

施工前 平成20年12月撮影

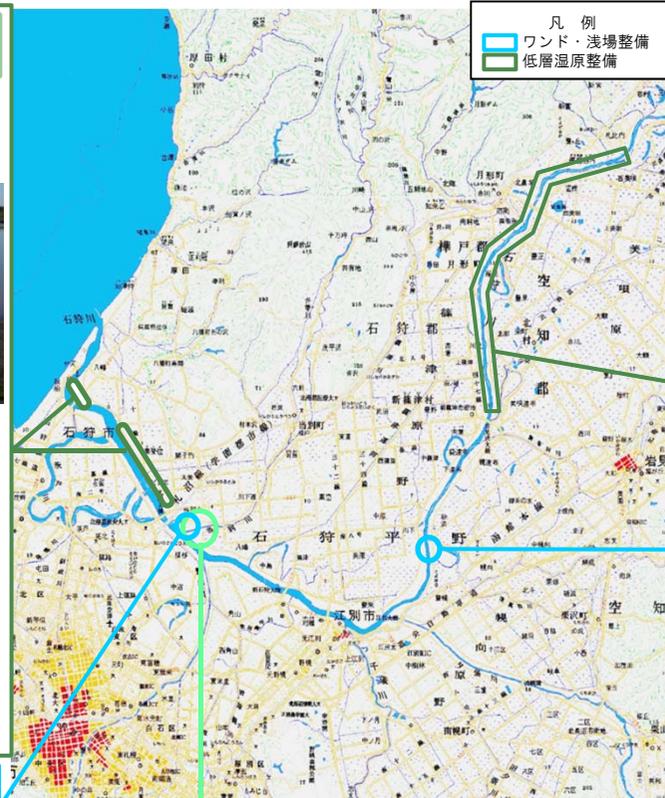
融雪水の湛水

施工直後 平成22年6月撮影

ヨシ群落が形成

施工後 平成22年8月撮影

植生回復後、河岸部（網場）を撤去



**石狩川中流河道掘削 H26～H35**

【現況イメージ】

【施工後イメージ】

**豊幌地区 ワンド**

石狩川本川 平成22年9月撮影

ワンド域

たまり下 たまり上

※カワヤツメが多く捕れる場所は、落葉落枝が多く堆積し、河床が粘性土ワンド造成箇所（平成16年造成）

カワヤツメが多く捕れた箇所

**当別地区 ワンド**

河岸が切り立った状態

整備前の河岸の状況（平成18年9月）

整備直後の状況 平成22年6月撮影

整備後の状況 平成22年8月撮影

整備前の河岸形状

水際部を緩傾斜化

**当別地区**

整備前の状況 平成19年4月撮影

整備中の状況 平成20年4月撮影

整備後の状況 平成25年8月撮影

凡例  
■ 整備対象箇所

掘り込みによるワンドの形成

拡幅による砂州やワンドの形成

湿地・草地環境の再生

石狩川

当別川

既存の湖沼は埋めずに深みとして存置する

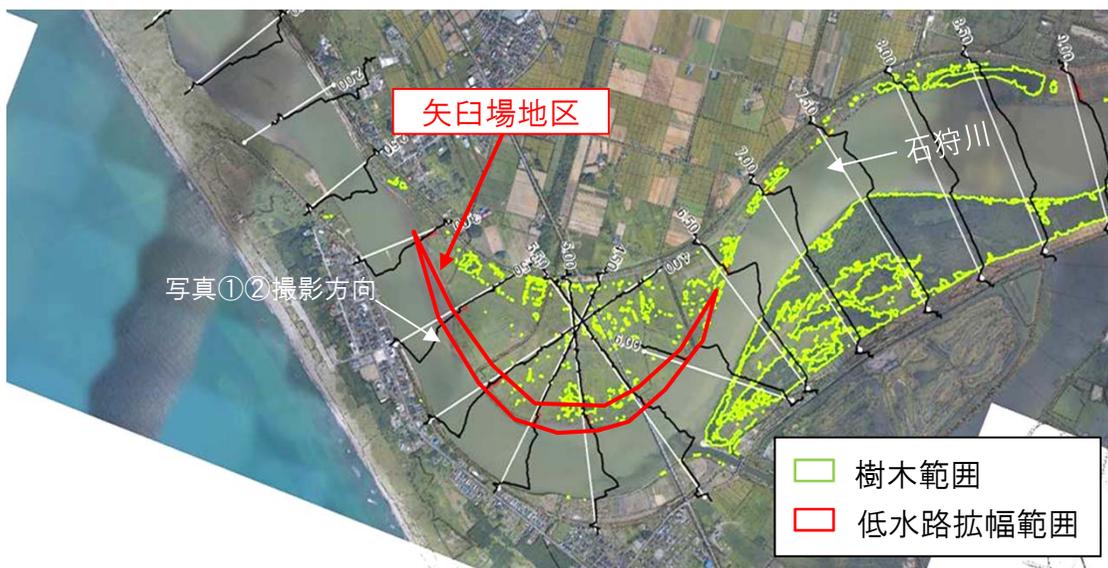
カワヤツメ捕獲数の推移

年	たまり下	たまり上	ワンド
H18	~50	~50	~50
H19	~80	~50	~50
H20	~100	~50	~50
H21	~100	~50	~350

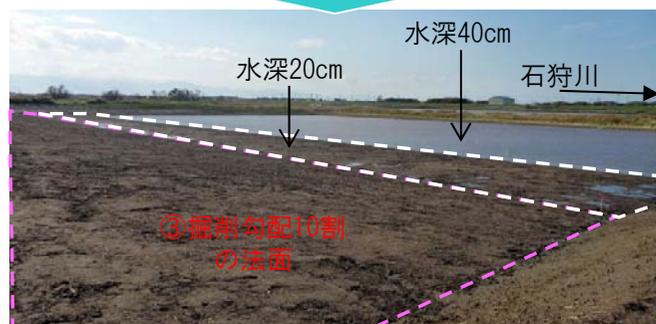
# 植生環境を考慮した低水路拡幅事例

石狩川矢臼場地区（湿地・草地）

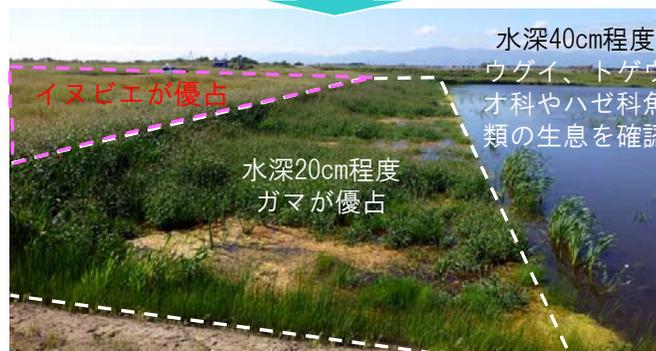
目的：水辺の植生遷移帯、緩流域形成による稚魚や小型魚類の生息場及び鳥類の採餌場・生息場の形成



写真③ 施工前 平成22年10月25日撮影

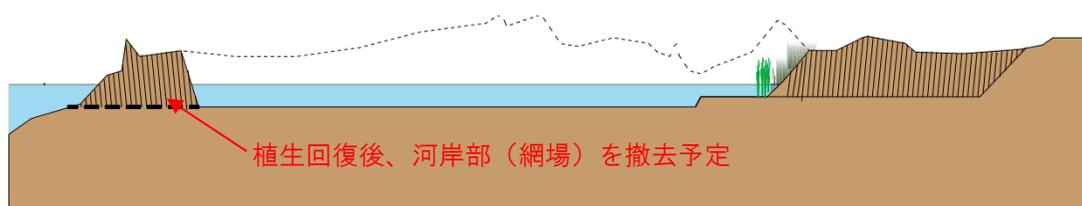


写真④ 施工直後 平成23年10月28日撮影



写真⑤ 施工後 植生の回復 平成24年9月3日撮影

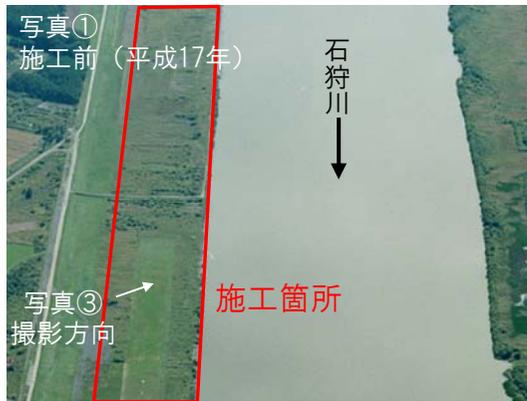
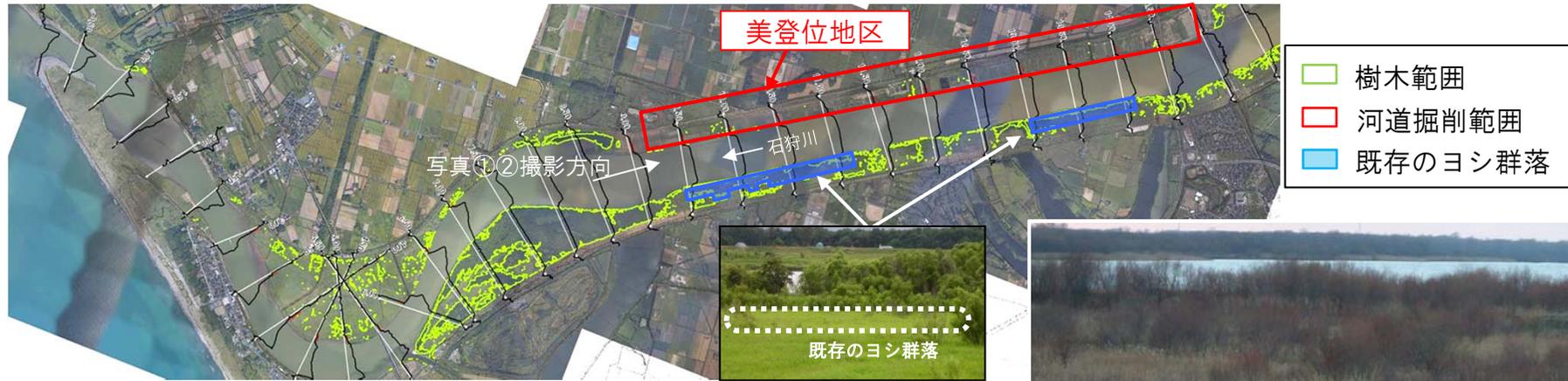
## 【施工概要】



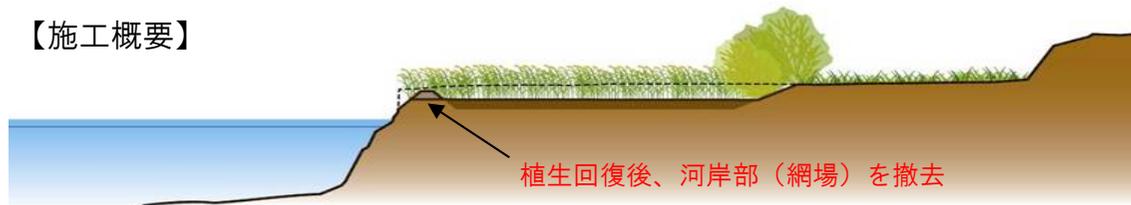
# 植生環境を考慮した河道掘削事例

## 石狩川美登位地区（湿地・草地）

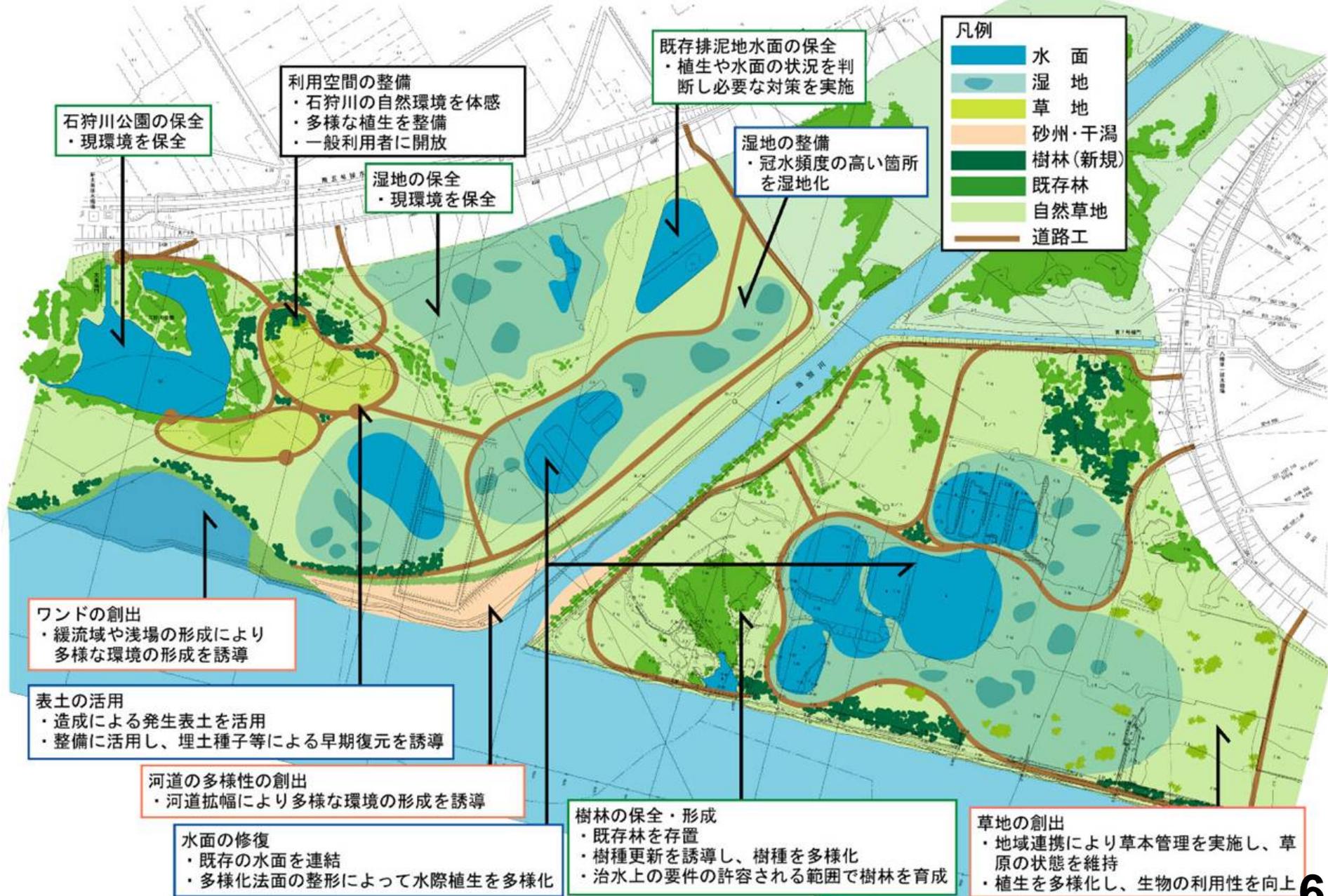
目的：水辺の湿生植物群落の回復、ヤナギ類の抑制、草原性鳥類の生息場の形成



### 【施工概要】



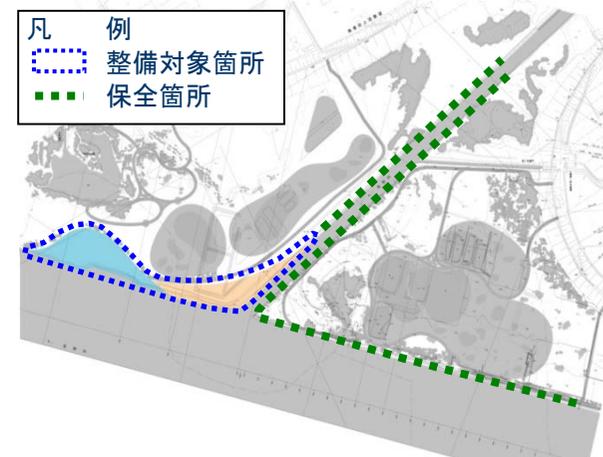
# 石狩川下流当別地区の全体計画(整備内容)



# 整備事例(1/3:河岸環境の再生)



整備実施前の状況 平成19年4月18日撮影



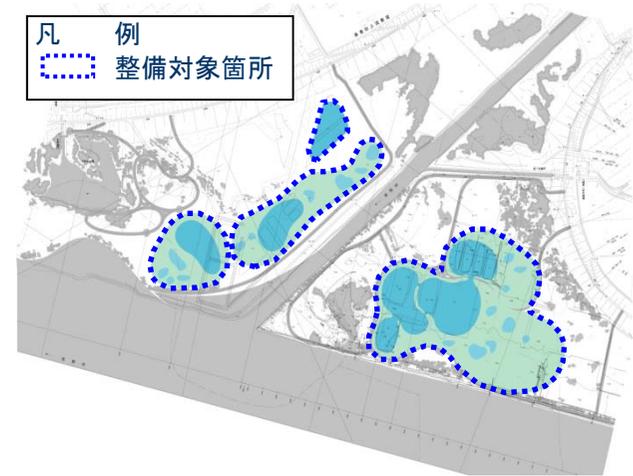
整備実施後の状況 平成25年8月2日撮影

# 整備事例(2/3:湿地・草地環境の再生)

## 整備の実施状況



整備実施前の状況 平成19年4月18日撮影



整備実施後の状況 平成25年8月2日撮影

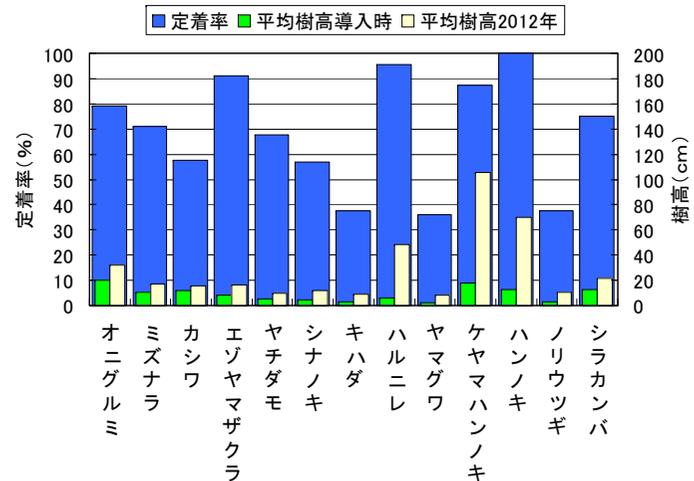
# 整備事例(3/3: 樹林環境の再生)

- ・土地利用の進展や河川改修により、従来の樹林のそのほとんどが失われ、現在生育している樹林は、河川改修後に生育してきたヤナギ林が主体
- ・自然更新による従来の樹種の再生は期待しにくい状態になっているため、人為的に種子供給を補助する形で樹林を更新・育成することにより、周囲の環境への自然の種子供給地となる母樹林を形成

## 整備の実施状況



## 植樹苗の活着・生育状況



# モニタリング（NPO等との連携・協働）

- 地域の様々な活動主体と協働してモニタリングを実施



## 【当別地区自然再生ワークショップ】

NPO法人カラカネイトンポを守る会  
NPO法人茨戸川環境市民フォーラム  
江別、当別、新篠津地域の  
鳥類及び両性爬虫類の生態研究者  
豊平川ウォッチャーズ  
流域生態研究所  
石狩鳥類研究所  
NPO法人当別エコロジカルネット  
当別ワンド構想の早期実現を  
目指す住民協議会  
行政機関（関係自治体等）

- ワークショップ等活動の場で、情報共有

